

令和5年7月 斐伊川水系水質情報

令和5年7月(宍道湖18日・中海4日採水)								単位:mg/l(Chl-a: µg/l)		
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
C O D	全層	4.5	△	平 年 並 み	3.6	△	平 年 並 み	4.9	△	平 年 並 み
全窒素	上層	0.44	△	平 年 並 み	0.34	○	良好(平年並み)	0.50	△	平 年 並 み
全リン	上層	0.028	○	良好(平年並み)	0.028	○	良好(平年並み)	0.067	△	平 年 並 み
Chl-a	上層	21	△	平 年 並 み	7.9	△	平 年 並 み	22	△	平 年 並 み
塩化物イオン	上層	1,470	△	平 年 並 み	8,350	△	平 年 並 み	5,980	○	やや低い
	下層	1,570	△	平 年 並 み	19,000	×	やや高い	13,000	△	平 年 並 み
溶存酸素	上層	13.0		やや高い	8.7		平 年 並 み	11.5		平 年 並 み
	下層	10.5		平 年 並 み	4.2		平 年 並 み	5.7		平 年 並 み

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項 目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
C O D	全層	4.0	やや上昇	3.0	やや上昇	4.5	横ばい
全窒素	上層	0.34	やや上昇	0.36	横ばい	0.60	横ばい
全リン	上層	0.032	横ばい	0.033	横ばい	0.084	やや下降

宍道湖の透明度は1.6mから1.4mと横ばいで、平年並み。中海の透明度は2.8mから2.4mとやや下降し、平年並み。米子湾の透明度は2.1mから1.7mとやや下降し、平年並みになっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

	↑	★	<非常に高い>
平均値＋標準偏差値の3倍	↑	☆	<かなり高い>
平均値＋標準偏差値の2倍	↑	×	<やや高い>
平均値＋標準偏差値 10年間平均値 平均値－標準偏差値	↑	△	<平年並み> ただし、環境基準値以下の場合には<良好>とする。
平均値－標準偏差値の2倍	↓	○	<良好> ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。 <やや低い> (塩化物イオン)
平均値－標準偏差値の3倍	↓	◎	<かなり良好> <かなり低い> (塩化物イオン)

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降

注) 平均値±標準偏差値 ……全体のおよそ68.2%

前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化… やや上昇、やや下降、横ばい

平均値±標準偏差値の2倍…全体のおよそ95.5%

前月値±標準偏差値の1/2以内の変化… 横ばい

平均値±標準偏差値の3倍…全体のおよそ99.7%